



# おしのっ子だより

学校教育目標 『心豊かで 自ら学ぶ たくましく活力のある子どもの育成』

## \* 図書館まつり・・図書館委員、吉四六劇団、大活躍！

11月15日(金)1時間目に、図書館委員会主催の「図書館まつり」がありました。  
 初めは、毎年恒例の吉四六劇団による公演です。梶原先生のバイオリンと吉四六劇団員のウクレレで歌を全校で歌い、始まりました。  
 「見張り番」という劇は、吉四六さんの子どもの頃のお話です。美味しい柿の実の見張り番を親に頼まれ留守番をしていたけれど、その柿の実を友だちと一緒に食べてしまいます。帰ってきた両親に吉四六さんが「ちゃーんとみちよったよ。」と答える。なんとも、おかしな話を、吉四六さんと、家の犬役の長田先生、近所の友達の安部先生と工藤先生、芸達者な吉四六劇団の皆さんの熱演に全校大笑いでした。楽しい演劇をありがとうございました。



**図書館委員による  
学年別の「読書クイズ」**  
 低学年では、「おしり探偵」などの人気の本から出題「おしり探偵の口ぐせは何でしょう？」わかりますか？「人気の本ベスト3」の発表もありました。



🍃「どくしょの木」の葉っぱを校長室にもらいに来てね。楽しい本を見つけましょう。

## \* 人権・平和集会・・学校を「ふわふわ言葉」でいっぱいにして！

11月28日(木)に人権・平和委員会の主催で、全校をふわふわ言葉でいっぱいにするために、人権や平和について考える人権・平和集会が行われました。  
 「子どもの人権って何でしょう。」それは、「安心」、「自信」、「自由」。自分が笑って過ごせる居場所がある「安心」であること、チャレンジして、頑張っても励まされて得られる「自信」があること、そして、「自由」、これは、何をしてもいいという意味ではなく、自分のために、人のためにどう言動するべきか、自分で考えて、自分の行動を選ぶことです。  
 人権を守るために、3つの道具があります。1つは、「いやだ」と言うこと、もう一つは「にげる」こと、そして、「相談すること」、自分の気持ちに正直に、我慢しないで相談しましょう。  
 毎日、いい顔・いい声・いい心の鴛野小学校の子どもでいてくださいね。(校長のお話より)  
 集会の始めに、委員会の子どもたちによる「たくさんのドア」という本の読み聞かせがありました。「おひさまのたね」を全校合唱の後、それぞれの学年のふわふわ言葉の紹介です。友だちから遊びに誘われてうれしかった、心がへこんでいるときに友だちの優しい言葉に励まされた、困ったときに助けてくれたなど、聞いていても心がホカホカしてきました。お互いに温かい友達でいたいですね。たくさんのふわふわ言葉やふわふわの心があふれ、笑顔いっぱいの鴛野小にしていきたいと思います。

**\* 北風が冷たい季節になりました。もうすぐ冬休みです。うがい・手洗いをして、ポケットに手を入れずに、手袋をしましょう。**